

本州太平洋岸の安家川に溯上した
カラフトマスについて

星合 愿一・佐藤 隆平
(1972年12月27日受領)

Record of the Pink Salmon, *Oncorhynchus gorbusha*, in the Akka River,
Honshu, Japan

Genichi Hoshiai and Ryuhei Sato

A specimen of the pink salmon, *Oncorhynchus gorbusha* (Walbaum), was caught at the lower Akka River draining to the Pacific coast of the northern Honshu, Japan, on September 29, 1972.

The specimen was a mature male with black blotches on the back and tail, and 357 mm in standard length. Scales of the specimen are small and 164 on the lateral line. Characters of this specimen are: anal fin rays 16, gill-rakers 28, and pyloric caeca 108. These values are within the range for the pink salmon which were collected in Hokkaido and reported by Hikita (1962) as shown in Table 1.

Akka River, where the pink salmon was caught, is situated about 70 km south of Oirase River along the Pacific coast of Honshu, Japan (Sato and Sato, 1964). The return of the pink salmon has not been previously reported from the rivers situated south of Oirase River. Therefore, Akka River is at present southernmost limit of the return of the pink salmon along the Pacific coast of Honshu, Japan.

(Department of Fisheries, Faculty of Agriculture, Tohoku University, Sendai, 980, Japan)

カラフトマス *Oncorhynchus gorbusha* (Walbaum) は北太平洋沿岸の河川に溯上して産卵する種類で、本邦の太平洋岸では青森県奥入瀬川が溯上の南限として報告されている（佐藤・佐藤 1964）。

今回、著者らは、岩手県九戸郡野田村、下安家漁業協同組合長島川良彦氏より安家川で“カママス”と呼称されている魚類標本の送付を受けた。検索の結果、これがカラフトマスであると査定された。この標本（東北大農学部水産増殖研究室保存）は、太平洋岸の河川におけるカラフトマスの分布の南限と考えられるので報告する。

安家川では従来より雄魚の背部の隆起が鎌の形に似ている“カママス”と呼ばれる魚が溯上する。この魚は毎年7~9月に10尾以上が捕獲され、その大きな

ものは2kgに達するといわれている（島川良彦氏談）。

今回入手した標本は、1972年9月27日に安家川下流の河口より2.5kmのところで採捕された雄魚である。なお翌30日には雌魚も採捕された模様で、その卵巣はかなり発達した状態であったとの報告を受けた。なお安家川の1972年7~9月にかけての平均水温は約20°Cであった。

標本の外部形態は背側と尾鰭に黒色の斑点が多数みられ、特に尾鰭のものは橢円形で大きい。この標本はFig. 2でも明らかなように第2次性徵である背部の隆起、いわゆる“背張り”が見られ、精巢は21gで雄成熟魚と判定される。また鱗の縁辺部が吸収されているために冬輪を認めることができないが、体長より鑑



Fig. 1. Akka River and adjacent regions.

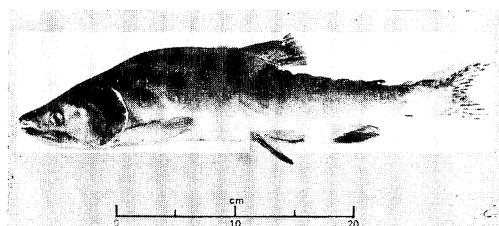


Fig. 2. The pink salmon, *Oncorhynchus gorbuscha*, 357 mm in standard length, found in Akka River, Honshu, Japan.

Table 1. Measurements and counts on the specimen found in Akka River in comparison with those found in Hokkaido.

	Specimens	
	Akka River	Hokkaido (Hikita, 1962)
Length (mm)		
total	393.0	402~675
standard	354.0	
head	104.6	
snout	37.3	
eye diameter	12.0	
body depth	82.2	
caudal peduncle depth	25.2	
Number		
dorsal fin rays	13	12~18
anal fin rays	16	16~19
ventral fin rays	11	11~12
pectoral fin rays	15	13~17
gill rakers	12 + 16 = 28	10 ~ 15 + 16 ~ 22 = 26 ~ 33
pyloric caeca	108	91~188
scales on lateral line	164	147~204

み多分生長の悪い2年魚と思われる。

諸形質の測定結果はTable 1に示したように Hikita (1962) が査定した北海道の河川のカラフトマスの測定範囲内にあり、鱗は小さく、尾柄迄の側線鱗数は164に達している。さらに鰓耙数も28と多く、細く密生し、これに付属小棘は認められない。依って本標本をカラフトマスと査定した。本標本は Hikita (1962) に較べるとやや小型であるが、北海道札幌内川で捕獲された全長33.2cm 体長29.7cm の雄の矮小カラフトマス(疋田, 1965) よりは大きい。

安家川は從来カラフトマスの溯上の南限とされてきた奥入瀬川よりもさらに約70km 南方に位置している。従って今後さらに本州各河川でのカラフトマスの溯上に関する綿密な調査が望まれるが、既応の報告から判断すれば、安家川は本州太平洋岸におけるカラフトマス溯上の南限ということができる。

標本入手にあたり、便宜を計りかつ有益な助言を寄

せられた、岩手県大槌町鮭鱒孵化場長真岩高司氏に深謝の意を表する。

引 用 文 献

Hikita, T. 1962. Ecological and morphological studies of the genus *Oncorhynchus* (Salmonidae) with particular consideration on phylogeny. Sci. Rep. Hokkaido Salmon Hatchery, 17: 1~97. figs. 1~9, pls. 1~30, tabs. 1~15.

疋田豊彦. 1965. カラフトマス矮小形の一例について. 水産孵化場研究報告, 20: 139~141. fig. 1, tabs. 1~2.

佐藤隆平・佐藤直三. 1964. 奥入瀬川における溯河性 鮓類調査報告. 本州鮭鱒孵化放流振興会, 5~18. figs. 1~6, pls. 1~9. tabs. 1~9.

(980 仙台市堤通雨宮町1の1 東北大学農学部水産増殖学講座)